

# 府営りんくう公園で観察できる 水辺の生き物や昆虫紹介



府営りんくう公園

令和6年3月

# よく見られる生き物たち(内海周辺)



**イシガニ**

甲羅が約8cmある。海中ではすばやく泳ぐことができる。ワタリガニの仲間、食べるとおいしいです。泉州地域では「モキチ」と呼ばれています。



**コメツキガニ**

かなり小さく甲羅は約1cmほど。砂場に小さな穴が無数にあるのは、巣穴です。近くに砂団子があれば、エサを食べた残りです。



**イソガニ**

甲羅が2cm～3cmほど。大型の個体もある。岩場などに生息している。岩の下に隠れていることもあります。



**ウミニナ**

砂場で大量に見ることができる巻貝。大阪府では、準絶滅危惧種に指定されています。



**ヤドカリ**

エビやカニと同じ仲間。別の巻貝の殻を背負っています。体が大きくなると、サイズにあう貝殻に引っ越しをします。ウミニナの貝殻を背負っています。



**イシダタミガイ**

巻貝の一種で模様が石畳(イシダタミ)に似ていることからこの名になりました。岩の表面に付いている藻を削り取って食べます。

# よく見られる生き物たち(樹林地などの昆虫)



**アブラゼミ**

翅(はね)が油紙を連想させるために名付けられたという説もあります。  
りんくう公園では減少傾向にあります。



**クマゼミ**

7月から9月上旬まで観察できます。  
りんくう公園では、第2駐車場付近の樹林地で観察できます。



**カブトムシ(※例外)**

りんくう公園では、クヌギなどカブトムシが好む樹木が無い  
ため、見つけることができませんが、**期間限定**の「ふれあいコー  
ナー」で自由に触ることができます。



**ハサミムシ**

樹林地の落ち葉の下にたくさんいます。  
お尻には大きなハサミがあり、獲物を挟んで動きを止めて食べます。毒はありません。



**オオカマキリの幼体**

毎年3月下旬になるとカマキリの赤ちゃんがいっせいに孵化します。かなりの数で、第2駐車場付近の低木で観察できます。



**ゴマダラカミキリムシ**

第2駐車場付近の樹林地などで観察できますが、樹木に卵を産み付け、幼虫が材部を食害するので、害虫扱いさせています。